

# 「学力向上ポートフォリオ(三橋中学校版)」

## 学力向上目標

全ての生徒に対して、

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得。
  - ・教科(国・社・数・理・英語)における習得すべき基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる。(自校テストで80%以上にする。)
- 思考力、判断力、表現力等の育成。
  - ・よい授業アンケート(因子4)「児童生徒の活動」における数値が目標値を上回る。
- 主体的に学習に取り組む態度の涵養。
  - ・学校評価(生徒)における「真剣に授業に取り組んでいますか。」「授業は楽しく分かりやすいですか。」「家庭学習(予習・復習など)ができていますか。」の肯定的な回答の割合を平均80%以上にする。

## 具体的な手立て

- ①各授業において、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」における「つかむ」「見通す」を重点として、本時の学習課題や学習プロセスを明確にした学習活動を展開する。
- ②GIGA端末におけるミライシード「ドリルパーク」を活用し、生徒の学習履歴を確認しながら継続的に復習させる。
- ③各教科において学習レポート・ポートフォリオを課し、自分の考えを深め、表現するとともに、自己の学習を振り返ることができるように指導する。
- ④三橋中学校学習の手引き(家庭学習のすすめ・シラバス)を作成する。
- ⑤全国学力・学習状況調査結果について、校内研修委員会を中心に分析し、職員会議で周知を行い、学習指導・生活指導向上を図る。また、次年度の教育活動に向けた課題策定の資料とする。

## 結果

- 自校テストにおける基礎的・基本的な知識及び技能の正答率については、全ての学年(国・社・数・理・英語)において概ね80%以上であった。
- よい授業アンケート(因子4)の数値が、昨年度の数値を0.7ポイント上回った。
- 学校評価(生徒)の「真剣に授業に取り組む」「授業は楽しく分かりやすい」「家庭学習の実施」の肯定的な回答の割合は89.5%であった。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

令和3年度全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の結果から、学力向上目標は達成できた。また、全学年で基礎学力の定着に重点を置いた取組を進めることによって、学校評価(生徒用)における「真剣に授業に取り組む」「授業は楽しく分かりやすい」のポイントが、昨年度に引き続き高い水準を維持できている。一方で、全国学力・学習状況調査における、国語においては「書くこと」、数学においては「数量や図形などについての知識・理解」に課題が見られた。今後は、一人一台端末を効果的に活用しながら、更に基礎学力が定着するように、指導していく。